令和８年度第２回宇部警察署協議会会議録

開 催 日 時		令和８年 10 月 23 日(金) 午後３時から午後４時 30 分までの間
開 催 場 所		宇部市常藤町３番１号 生活安全ふれあい館視聴覚室
出席者	委　　員	安光委員、白木委員、樋口委員、河村委員、三次委員、 村岡委員、武田委員、金子委員、村上委員、桑田委員、 塚原委員、中村委員 計 12 人
	警 察 署	署長、副署長、地域官、刑事官、交通官兼交通総務課長、 主幹、生活安全官、警務課長、警察安全相談課長、 留置管理課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事第一課長、刑事第二課長、交通指導捜査課長、警備課長 計 17 人
議　　題		1　業務推進状況 2　効果的な地域警察活動

1　会長挨拶

警察署協議会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げる。

本日の諮問事項は「効果的な地域警察活動」である。

我々地域住民にとって、交番や駐在所はもっとも身近で頼りにしている存在であり、日々変化する地域情勢の中で、交番や駐在所にどのような活動を期待しているかについて、住民の目線から率直な意見やアイディアを出し合い、より実効性のある警察活動につなげていただきたいと考えている。

本日はどうぞ、よろしくお願いする。

2　署長挨拶

省略

3　業務推進状況(署長)

⑴　効果的な犯罪抑止対策の推進
⑵　少年の非行防止対策の推進
⑶　重要犯罪等の検挙対策の推進
⑷　交通死亡事故抑止総合対策の推進

4　前回協議「特殊詐欺被害防止対策」における提言への説明(生活安全課長)

⑴　特殊詐欺対策アプリのインストール導入広報について
⑵　小中学校における保護者連絡用アプリの活用について
⑶　警察庁のホームページについて
⑷　人を孤立させない社会づくりの醸成について

５　諮問事項説明（地域課長）

効果的な地域警察活動

６　諮問事項協議

（委員）

交番・駐在所の機能強化について、デジタル化の推進を提案したい。

限られた人材を有効活用するため、交番や駐在所の数・配置を含めた機能集約やデジタル化の導入が効果的である。

たとえば、不在交番にタブレットを設置することで、遠隔で相談や各種案内を受け付けることができる。

また、交番へ足を運ばずインターネットで遺失届を提出できるようになっているなど、かつては交番でしかできないと考えていた手続きが自宅で完結できるようになっている点を踏まえ、体制の見直しを検討してほしい。

（地域課長）

現在もデジタル化による業務効率化に取り組んでいるところであり、遺失届のオンライン提出や 110 番通報時の映像送信機能等については既に実装済みである。

タブレット設置は予算上の制約があるものの、将来的に電子掲示板などの導入も予想される。

今後もデジタル化を進め、駐交番の機能を有効に活用できる体制へ転換していきたい。

（委員）

私が住む藤山地区では、管轄していた居能駐在所が数年前に閉鎖され、当初は住民の不安感が募っていた。

しかし、管轄地区を新川交番が引き継ぎ、その働きぶりにより見事に住民の不安感を払拭していただいている。

藤山ふれあい祭りでも警備派遣依頼を受けていただき、また、イノシシ目撃情報に対しても迅速に戸別訪問等して注意喚起を行ってくださったことなど、住民は大変感謝している。

（地域課長）

居能駐在所は令和 6 年 3 月に廃止となった。

その要因は建物の老朽化や管内の人口・取扱事案数の増加に伴い、駐在所としての機能維持に限界を迎えていたことにある。

現在は新川交番に統合され、管内に繁華街を管轄しながらも各種事案や相談に対して迅速かつ的確に対応しており、地域住民の安心・安全の確保に尽力している。

委員から謝辞があった旨は交番員に伝達させていただく。

（委員）

山間部の空き家・空き工場への警らを強化してほしい。

（地域課長）

パトカーは管轄にとらわれず山間部もカバーするよう指示しており、ほかに刑事課や生活安全課等の専務員も夜間の警戒等を実施している。

引き続き警戒活動を強化していく。

（委員）
恩田スポーツパークの交流棟など、公共施設で Wi- Fi が利用できる場所が中高生のたまり場と化していることが地域の問題となっている。
警察官が立ち寄る等して利用者への指導や安全確保をお願いしたい。
（地域課長）
管轄交番と情報共有し、対応を検討する。
（委員）
広報誌は熱意と工夫が感じられ、素晴らしい出来映えであると評価できるが、各号の内容がほぼ同一で重複している印象がある。
作成にはどれも多大な時間と労力がかかっていることと思われるが、業務効率化の観点から警察本部や警察署等で広報資料の一元化・共通化をした方が良いのではないか。
（地域課長）
委員ご指摘のとおり、広報紙の作成には多大な労力がかかっていた。
よって、今年度から広報紙作成の負担軽減策を試行しているところであり、市街地の交番は当番制で一括作成し、駐在所は各所で作成している。
今後も随時見直しを進め、効率的な広報活動を実現する方針である。
（委員）
広報紙を含め、回覧板自体を多くの住民が見ていないという実態も課題である。
より見やすい広報紙の作成とデジタル化への移行等を検討願う。
（委員）
回覧板は堅苦しい印象が強く、若者向けにアニメやデザイン性を高めれば関心を引けるのではないか。
（地域課長）
貴重なご意見として参考とさせていただく。
（地域官）
先日、駐在所が作成した広報紙を見たことによって窃盗事件が多発していることを知り、犯行を目撃した方がすぐに通報していただいて犯人の早期検挙に繋がった事例があった。
特に高齢者が多く、地域に密着した活動を行っている駐在所の管内では現行の広報紙の閲覧率は高いと考えられるため、デジタル化への移行は慎重に進めていく必要がある。
（委員）
先日フジグランの駐輪場で警察官が自転車の鍵掛けやヘルメット着用に関する声掛けを行っている姿を見かけ、宇部警察署の地道な取組を実感したところである。
他の警察署では祭り等の人が集まる行事で寸劇を用いた広報活動を行っていると聞いたが、宇部警察署でも実施できないか。
（地域課長）
今後、寸劇や体験型イベントを活用した啓発活動の拡充を検討する。
（委員）
高齢者の見守りと特殊詐欺対策として、独居高齢者への訪問・声掛けや最新手口の防犯教室開催をお願いしたい。

（地域課長）
独居高齢者宅は重点的に巡回連絡を実施しているところであり、関係機関やボランティアと協働して防犯教室を開催できる体制を整えている。
（委員）
これからの時期は各地で祭り等のイベントが開催されるので、観光施設や祭りの運営管理者と連携した広報活動等を実施してほしい。
（地域課長）
事前に日時・場所をご連絡いただければ、警察官が参加し施設管理者と連携した防犯・交通安全対策を実施する所存である。
直近では11月1日に開催される宇部まつりでの広報啓発活動を予定している。
（委員）
特殊詐欺電話の広報については、高齢者宅訪問時に実際の音声・映像の提示等が有効だと考える。
また、誰でも気軽に相談できるチャット型相談窓口等の設置を希望する。
（地域課長）
高齢者宅への巡回連絡の際に、Youtube等で配信されている実際の詐欺音声を警察官と共に視聴する手法等について検討させていただく。
また、チャット型相談窓口などの情報共有プラットフォームは未構築であるが、貴重なご意見として今後の参考とさせていただく。
（委員）
自転車ルールの徹底についても広報周知の強化を願う。
（委員）
私は運送業を営んでおり、従業員から自転車の飛び出しや危険走行が多発しているとの報告を聞く。
また、本年９月に法改正された生活道路の30km/h規制に関して、「トラックの速度が遅い」との乗用車からの苦情が増えた印象がある。
交通ルールに関して、より一層の広報周知をお願いしたい。
（地域課長）
当署では、毎週水曜日を犯罪抑止の日と定め、自転車盗や詐欺被害防止の広報を行うとともに、自転車利用者に対する集中的な指導取締りに取り組んでいるところである。引き続きあらゆる機会に広報啓発を行い、自転車ルールの広報周知にも取り組んでいく。
また、生活道路における危険箇所等について情報があれば、随時対策を検討する方針である。

７　監察関係事案説明（副署長）
警察職員の懲戒処分事案についての説明

８　配布資料
⑴　業務説明資料
⑵　諮問事項資料

９　次回協議会の日程について
令和９年２月頃の開催予定とした。